

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北里大学医療衛生学部新A号館	階数	地上6F
建設地	相模原市南区北里一丁目411-1外48筆 (地名地番)	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,700 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年12月19日
敷地面積	5,896 m ²	作成者	(株)日建設計
建築面積	3,500 m ²	確認日	2018年12月20日
延床面積	18,889 m ²	確認者	(株)日建設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 建物の中央に設けた階段室を利用した自然換気。廊下、トイレへの自然採光 LED、高効率器具の採用、適切な照明制御による、設備の高効率化 キャンパス内の周辺環境に配慮した外構、外装計画 		0
Q1 室内環境 ・LED、高効率器具の採用による消費電力の低減 ・エアコン、トイレ照明等の人感センサーによる照明制御	Q2 サービス性能 ・各階階高を4m以上確保した、ゆとりのある空間	Q3 室外環境(敷地内) ・既存建物の調和した外装・外構計画
LR1 エネルギー ・自然換気システム及び高効率機器の採用	LR2 資源・マテリアル ・節水コマに加えて、凝音装置を採用 ・地下ピットを利用した雨水利用計画	LR3 敷地外環境 ・建物の低層化による日影等の周辺敷地への配慮

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される